

創

—第 74 回—

近頃の若いもんは

プロ野球が激アツです。

一番の要因は才能溢れる若手の台頭。筆頭格が先日「完全試合」を達成した千葉ロッテの佐々木朗希投手。メジャーでも大谷翔平選手をはじめ日本人選手が大活躍で、毎日のニュースが楽しみみです。

その佐々木投手、先日の試合で主審から詰め寄られる場面がありました。原因は主審の判定に対して不服そうなる「態度」を示したからだと言われています。

これには様々な意見があります。

私は試合を円滑に進める為には審判が必要だし、判定に従うのは当然だと思っています。しかし人間のやる事ですから判定全てが正しい訳ではないし、何より選手あってのプロ野球です。判定のミスで



別府市長
長野 恭紘

試合自体を壊したり、選手の才能を潰す事は絶対にあってはならないと思います。だから最近ほどのスポーツでもビデオ判定が導入されていると理解しています。

それら全てを勘定に入れても、主審の態度には明らかに傲慢さが見てとれました。見ていて不愉快でしたね。早く一部ロボット審判の導入を期待します。

それにしても鮮やかだったのは捕手の松川虎生選手。いち早くその雰囲気を感じ、主審と佐々木投手の間に割って入り、主審に威嚇されながらも(笑)場を収める冷静さ。なんと弱冠18歳。

近頃の若いもんは、とは昔の事か。

近頃の中年は、と私も言われぬよう落ち着いて市政向き合いたいと思ったこの頃です(笑) (5月7日執筆)



フォトべっぷ



3年ぶりの熱い想い—5月1日、新型コロナの影響で中止となっていた湯ぶっかけまつりが感染対策を行ったうえで開催されました。沿道やステージから、約100トンの温泉が参加者を目掛けてぶっかけられ、弾ける笑顔と温泉で会場が包まれました。



免疫力日本一宣言—4月21日、別府 ONSEN アカデミア 2022 実行委員会総会を開催しました。今回のアカデミアは、温泉の効果を医学的に検証し、温泉地としてのブランド力を高めることを目的に11月26日にビーコンプラザで開催する予定です。



ウクライナから別府へ—ウクライナ避難民の方々が住民登録を経て別府市民となりました。現在も母国は戦火の状況にあります。避難民の方々が安心して暮らせるよう皆で支え合っていきましょう。多くのご支援をいただきありがとうございます。



備えあれば—防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業決定書授与式を行いました。B & G財団から災害時に必要な機材配備・研修費用の助成をいただきながら、周辺自治体と災害時相互応援協定を締結し、災害に強いまちづくりを推進します。